昭和60年11月11日第三種郵便物認可　毎月１回１日発行

HOLSTEIN
ホルスタイン通信

2014-3

平成26年３月１日発行　通巻第７１９号
発行所　北海道ホルスタイン農業協同組合
〒001-8555 札幌市北区北15条西5丁目
電話 011-726-3111 FAX 011-726-3135
ホームページアドレス http://www.holstein.or.jp
発行人　専務理事　齋　藤　眞　澄
編集者　参　事　柾　谷　智　史

主な項目

◆ 新たな共進会認定審査員 …… ３頁
◆ 第39回優良登録委員表彰 …… ４頁
◆ 米国におけるゲノミック選抜を利用した乳牛改良状況の視察 … ８頁
◆ 役員視察研修：浜名酪農協・南信酪農協 …… 12頁

平成25年度・地区組合員協議会

平成 26 年 1 月 31 日（金）～ 2 月 13 日（木）

報告事項

平成25年度事業実施状況並びに収支報告について

協議事項

平成26年度事業計画骨子（案）について
第16回北海道総合畜産共進会「乳用牛部門」開催要領等について
北海道全共後のナショナルショウ出品区分の考え方について

本年度組合員協議会は、１月31日（金）石狩地区を皮切りに２月13日（木）の間、10地区で組合員194名、関係団体16名、合計210名の参加を得て開催し、多くの貴重な意見をいただきました。組合では、頂戴した意見を業務に反映させ、適正な事業運営に努めて参りますので皆様の尚一層のご協力をお願いいたします。

開催された各地区協議会には、北 組合長はじめ小椋副組合長、齋藤専務、地元役員の他、理事・監事の方々が出席するとともに、柾谷参事、藤澤副参事ほか担当部長が出席して説明協議いたしましたのでその概要をお知らせいたします。

空知・留萌地区協議会

石狩地区協議会

開会挨拶

協議会の開会にあたり、出席いただいた皆様方に日頃の組合業務へのご協力に謝意を述べ、次の通りの挨拶を行いました。

昨年の暮れにTPPの閣僚会合において日米２国間協議が行われましたが、妥結に至らず今年に協議が持ち越されたところでありますが、交渉内

容も明らかにされず、今後の酪農経営に対する不安を払拭することはできない状況にあり、“重要５品目はしっかり守る”ことは堅持してもらいたいものであります。

一方、道内は春先の低温や天候不順により農作業が遅れたほか、局地的な大雨や干ばつ、降ひょう等による牧草の生育遅れや夏の暑さによる分娩時期のズレなどの影響を受け、生乳生産量の下げ幅が一時期最大になるなど、さらには円安などの影響により生産資材や原油価格の高騰もあり、国内外ともに経営・生産環境は先行き不安な厳しい状況にあり、後継者が安心して営農できる基盤を作るためにも、関係機関団体と連携して今後とも必要な対策を国へ要請していくことが肝要と考えます。

このような中で、当組合の基幹事業であります登録事業並びに市場流通事業の12月末までの状況につきましては、のちほど事務局から報告させますが、全体的には概ね計画通りに推移しているところです。

本日開催の地区協議会の議題は、報告事項１点と協議事項３点となっており、特に協議事項３点目にあります「北海道全共後のナショナルショウ出品区分の考え方について」ですが、この協議会においてご意見をいただき、新年度早々には、その方向性を皆様に示すことが望ましいと考えており、のちほど提案申し上げますのでご協議下さるようにお願い申し上げます。

さらに、今年度から日本ホルスタイン登録協会の本局と北海道支局がSNP（スニップ）検査情報の管理を行うとともに、ゲノミック評価の実施体制を整備した所であります。

今年の通常総会は５月28日水曜日午前11時から「かでる２．７」で開催いたします。近年、総会への出席人数が特に減少しておりますので、組合員の皆様方におかれましては、お忙しい時期とは思いますが是非とも札幌まで足をお運びくださるよう切にお願い申し上げます。

本年が皆様にとりまして充実した１年となりますよう、ご祈念申し上げ開会の挨拶といたします。

協議会の次第

議長には地元の役員の方々がそれぞれ就任して議事を進める中、事務局から報告事項の説明と協議事項が提案され各々の説明の後、質疑が行われました。

【報告事項】

(1) 平成25年度事業実施状況並びに収支報告について

【協議事項】

(1) 平成26年度事業計画骨子（案）について
(2) 第16回北海道総合畜産共進会「乳用牛部門」開催要領等について
(3) 北海道全共後のナショナルショウ出品区分の考え方について

【質疑応答】

組合員の皆様から多くの意見・要望が出され、組合長をはじめ専務、参事、各担当部長より答弁いたしました。

質疑の概要等につきましては、当通信５月号に掲載する予定としております。

□ 平成26年度 主な行事予定 □

第 68 回通常総会	５月28日（水）午前11時	かでる2.7　札幌市中央区北２条西７丁目
2014年北海道Ｂ＆Ｗショウ	５月24日（土）・25日（日）	北海道ホルスタイン共進会場（安平町）
第16回北海道総合畜産共進会「乳用牛部門」	９月27日（土）・28日（日）	北海道ホルスタイン共進会場（安平町）
組合員女性研修会	11月上旬予定（１泊２日）	札幌近郊牧場視察等
カナダ酪農視察研修	11月上旬予定（５泊７日）	ローヤルウインターフェア・トロント近交牧場視察

共進会認定審査員 新たに4名を認定

北海道ホルスタイン農協では乳牛の改良上極めて重要な役割を果たす共進会審査の的確な推進を図るため、「共進会審査員認定要領」を定め、共進会審査について高度な審査技術を習得している方を認定しております。

今年度の認定者につきましては平成2年から開催している「共進会ジャッジ研修会」を5回以上受講し、その成績、審査講評及び共進会審査実績等を総合的に評価の上、経済企画委員会で協議・推薦し、理事会で決定され、2月1日付けで認定いたしました。

昨年までの認定者の内、広尾町・角倉光記氏、中標津町・佐々木昭雄氏、別海町・山田光男氏、(一社)ジェネティクス北海道・遠藤正彦氏、㈱TOMMY-HILL INTERNATIONAL・荒木敏彦氏は認定要領の定めに従い満60才にて登録を取り消しています。現在は今回の4名とあわせて28名の方が認定されています。

認定者につきましては、北海道ホルスタインナショナル ショウの審査員を始め、全国のショウリングで活躍しており、共進会の主催者におかれましては、この制度の趣旨をご理解いただき認定審査員をご指名下さるようご案内申し上げます。

今回認定された方の主な審査歴は次のとおりです。

□□ 平成25年度認定者 □□

清水町
松 原 秀 雄 氏

《道内における管内クラスの審査歴》
25年 胆振家畜共進会
北見管内総合家畜共進会
23年 後志B&Wショウ
21年 道北ホルスタイン共進会
釧路B&Wショウ

鶴居村
松 井 俊 治 氏

21年 十勝B&Wショウ

㈱十勝家畜人工授精所
フィールド調査部 資源調査次長
児 玉 辰 司 氏

21年 後志管内共進会

(一社)ジェネティクス北海道
道東事業所業務課 課長
人 見 智 亮 氏

20年 上川ホルスタインショウ

共進会認定審査員 （氏名・アイウエオ順、敬称略）

氏名	市町村	氏名	市町村	氏名	市町村・所属
今村敏幸	更別村	杉浦尚	帯広市	野原幸治	帯広市
小椋茂敏	上士幌町	瀬能剛	岩見沢市	福屋栄人	恵庭市
加藤道博	帯広市	田中忠正	佐呂間町	松井俊治	鶴居村
木村博文	大樹町	弾正原正	中標津町	松原秀雄	清水町
串田雅樹	清水町	中川尚人	恵庭市	山田博和	別海町
久保剛	中標津町	成田純哉	釧路市	渡部信義	ジェネティクス北海道

氏　名	所　属	氏　名	所　属	氏　名	所　属
人見智亮	ｼﾞｪﾈﾃｨｸｽ北海道	高橋忠司	ＡＢＳ	千葉義博	ホル農協
山口寿典	十勝ＡＩ	細野　淳	アルタジャパン	藤澤義美	〃
児玉辰司	〃	小泉俊裕	ホル農協		
福屋茂生	ＬＩＡＪ	田井道広	〃		(合計28名)

審査歴は北海道ホルスタイン農協ホームページで開示中　　http:/www.holstein.or.jp

第39回優良登録委員表彰

登録事業の普及推進と地域酪農に貢献の登録委員12名を表彰

去る１月23日㈭札幌市・ＫＫＲホテル札幌において、「第39回優良登録委員表彰式」を開催し、12名の皆様を表彰いたしました。この表彰は、北海道におけるホルスタイン種牛登録の重要性に鑑み、登録の正確かつ迅速な事務処理の推進をはかる事を目的に「優良登録委員表彰要項」を設け、永年に亘り登録事業の普及推進及び地域の酪農振興に尽力され、他の模範となる登録委員の方々を全道の登録取扱団体から推薦を受け、日本ホルスタイン登録協会北海道支局と共催で表彰しております。

表彰に当たり、当組合 齋藤専務理事より、受賞者の永年に亘る登録事業並びに地域酪農発展への多大な貢献に対し感謝とお礼の言葉を述べました。また、当日は時節柄ご多用中にも拘らず来賓として北海道農政部生産振興局畜産振興課 葛西理明課長、同酪農グループ 濱名健太主任をはじめ北海道酪農検定検査協会 熊野康隆専務理事、北海道家畜人工授精師協会 新澤克己常務理事のご臨席を賜り、ご祝辞と激励をいただきました。その後の表彰式では、表彰者皆様の功績を紹介し、表彰状並びに副賞を贈呈いたしました。

当組合
齋藤専務理事

道農政部食の安全
推進局畜産振興課
葛西課長

北海道酪農
検定検査協会
熊野専務理事

最後に受賞者を代表し、天塩町農業協同組合の小山政憲様より、受賞の喜びと新たな決意で改良の要である登録業務に精進するとともに、登録から得られる様々な情報を活用し酪農の輝く未来のために酪農家とともに手を携えて邁進していく旨の謝辞が述べられ、表彰式を終了いたしました。

謝辞を述べる天塩町農業協同組合の小山政憲様

表彰式・祝賀会には、同日開催の地区連合会登録事務担当者会議に参加された方々のご出席も賜り、終始和やかな雰囲気の中に終了いたしました。

受賞されました優良登録委員の皆様の益々のご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。

（登録部証明課　坂田）

優良登録委員表彰者（敬称略）

石狩地区農業共済組合
藤本　勝久

美瑛町農業協同組合
佐原　健一郎

ようてい農業協同組合
佐伯　勝則

新函館農業協同組合
亀尾　孝幸

しずない農業協同組合
坂下　敏明

帯広大正農業協同組合
三浦　均

大樹町農業協同組合
戸水　節雄

釧路地区農業共済組合
五十嵐　正男

釧路丹頂農業協同組合
松原　清美

標津町農業協同組合
門脇　博

オホーツク農業共済組合
中田　敏之

天塩町農業協同組合
小山　政憲

受賞者の皆様と当組合齋藤専務・柾谷参事

功績紹介（敬称略）

地　区	氏　　名	所　属　団　体	委嘱年月日
石　狩	**藤 本　勝 久**	石狩地区農業共済組合	平成 6 年 5 月24日
		《功績》家畜の診療並びに人工授精業務と共に登録事業に多大な貢献をされている。今後も臨床獣医師として、また登録委員として益々の活躍が期待される。	
上　川	**佐 原 健一郎**	美瑛町農業協同組合	平成15年 4 月24日
		《功績》地元酪農後継者の良き相談役となる他、他農協との連携を図るなど、管内酪農畜産において重要な役割を担っている。相手にも自分にも厳しい一面を持ち、仕事に対する責任感は他の登録委員の模範である。	
後　志	**佐 伯　勝 則**	ようてい農業協同組合	平成 9 年 9 月11日
		《功績》カナダでの酪農実習及び専任検定委員としての経験を基に、登録の普及と牛群検定事業の推進に尽力されている他、地域の若手酪農家から絶大の信頼があり、管内酪農家には欠く事の出来ない人材である。	
道　南	**亀 尾　孝 幸**	新函館農業協同組合	平成10年 6 月30日
		《功績》登録業務はもとより、営農指導、個体販売にも精通している酪農畜産の専門職員として地域の信望も厚い。また、後進の育成にも積極的に関わり、地域の畜産事業に大きく貢献されている。	

地　区	氏　　名	所　属　団　体	委嘱年月日
日　高	坂 下　敏 明	しずない農業協同組合	平成11年７月22日
		《功績》登録業務を精力的に推進し、管内上位の普及率を誇る。誠実で黙々と業務をこなす姿勢は他の登録委員の模範であり、地域の酪農発展に多大な貢献をされており、今後、益々の活躍が期待される。	
十　勝	三 浦　　均	帯広大正農業協同組合	昭和57年10月１日
		《功績》登録業務はもとより、後代検定事業や営農指導、販売業務等、酪農畜産関係業務に幅広く携わる。一貫して畜産の振興に取組み、その姿勢は生産者からの信頼も厚い。	
十　勝	戸 水　節 雄	大樹町農業協同組合	昭和50年11月10日
		《功績》地域の家畜改良を通じて酪農畜産経営の発展に大きく寄与している。登録業務のみならず、酪農畜産に幅広く精通し、その功績は地域の酪農家からも高く評価される。	
釧　路	五十嵐 正 男	釧路地区農業共済組合	昭和54年８月１日
		《功績》豊富な経験を基に登録業務、牛群審査、牛群検定事業の普及推進に尽力されている傍ら、地域の酪農家からの信頼も厚く、後継者の指導にも力を注いでいる。	
釧　路	松 原　清 美	釧路丹頂農業協同組合	平成12年６月９日
		《功績》全牛登録に努め、牛群審査、牛群検定事業の普及推進に積極的に取組む。その成果は酪農家のみならず後輩技術者にも高く評価され、後継者育成及び地域の酪農振興に多大な貢献をされている。	
根　室	門 脇　　博	標津町農業協同組合	平成４年８月12日
		《功績》人工授精師としての経験を生かし、乳牛改良並びに登録、牛群審査、牛群検定事業の普及推進に努め、酪農後継者への指導にも力を注いでおり、今後、益々の活躍が期待される。	
網　走	中 田　敏 之	オホーツク農業共済組合	昭和59年12月12日
		《功績》管内各地での人工授精経験を基に、登録による正確なデータを基本として、検定情報を活用した交配指導を取入れる等、登録委員として果たしている功績は大である。	
留　萌	小 山　政 憲	天塩町農業協同組合	平成６年５月30日
		《功績》登録事業、後代検定事業、受精卵移植事業等が乳牛改良の根幹であるとの認識に立ち、登録、牛群審査、牛群検定事業の普及推進に尽力されている他、地域の酪農発展に大きく貢献している。	

北海道ホルスタイン改良協議会

平成26年度定期総会

北海道ホルスタイン改良協議会（会長:上野元一）の平成26年度定期総会は、各地区会員（25名）と関係団体の出席を得て、去る２月11日㈫KKRホテル札幌において開催されました。

上野会長から「来年は北海道での全国共進会が開催される予定であり、今年の徹底した管理が来年に向けての大きな鍵となる年であります。地元として悔いのない成績を上げるのはもちろんのこと、府県との交流がますます深まるよう、皆様のご協力をお願い致したい。」との開会挨拶についで、当組合の齋藤専務理事、(一社)ジェネティクス北海道の遠藤参事から祝辞を頂き、続いて来賓の方々が紹介された後、議事に入りました。

〔来　賓〕

北海道ホルスタイン農業協同組合	齋藤専務理事
(一社)ジェネティクス北海道	遠藤参事
(一社)家畜改良事業団	松原場長
㈱十勝家畜人工授精所	吉川取締役常務
ホクレン農業協同組合連合会酪農部	西野次長
㈱野澤組　札幌営業所	岸上営業本部長
オールジャパンブリーダーズサービス㈱	高橋取締役常務
全国酪農業協同組合連合会	岡田支所長
アニマルジェネティクスジャパン㈱	荒木ゼネラルマネージャー

アルタジャパン㈱　　細野代表取締役

議長には坪井 泰憲氏(釧路地区)が選出され、提出された議案はいずれも原案どおり可決承認されました。

〔主な事項〕

1）2014年北海道ブラックアンドホワイトショウの開催

期　日　平成26年5月24日㈯10：00～16：00
　　25日㈰8 ：00～12：10

場　所　北海道ホルスタイン共進会場(安平町早来)

審査員　松原　秀雄氏（清水町　酪農家）

《申込方法》

・申込書に登録証明書の写し(登録申請中のものは登録申請書写し)と出品申込料を添えて、各地区の事務局経由で申し込むこと。
・出品申込期限は4月21日㈪まで。

《審査区分》

・審査区分前年と同様、但し第17部 ジュニアゲッツオブサイアーは後代検定参加同一種雄牛産子3頭1組とする。

《衛生条件》

・搬入初日の5月22日㈭を基準に各疾病の検査・注射等を行う期間を明記。
・牛呼吸器病の衛生条件に5種混合生ワクチンを追加している。

《次年度審査員の選考について》

・従来通り出品者による投票制とする。

2）2014年共進会ジャッジングスクールの開催

日　時　平成26年5月1日㈭

場　所　北海道ホルスタイン共進会場(安平町早来)

供試牛などの準備は石狩、空知、胆振、日高の各管内ホルスタイン改良同志会に一任する。

最後に、上野会長から「今年も改良協議会の活動が始まったが、会員の皆様や関係機関の方々にご協力をいただき1年を進めていきたい。」との閉会挨拶がなされ、本総会は滞りなく終了しました。

（審査部企画課　松井）

北海道ジュニアホルスタインクラブ運営委員会

平成26年度定期総会

北海道ジュニアホルスタインクラブ運営委員会（会長:上野元一 きたみらいJHC）は、去る2月10日㈪当組合会議室で本年度定期総会を開催いたしました。

当運営委員会は道内各地区のジュニアホルスタインクラブ（JHC）を統括し、運営の意見交換をする会であり、主な行事は北海道ホルスタインナショナルショウのジュニア酪農教室の参加や写真コンテストの開催ですが、各JHCでは地域の特色を生かし、関係団体と連携を取りながら後継者育成に取り組んでいます。

今年度の定期総会には12クラブの代表者及び事務局担当者等18名が出席し、25年度事業報告及び収支決算報告、26年度の事業計画案と予算案が承認されました。

今年も昨年に引き続き道改良協議会と連携し、第16回北海道総合畜産共進会の付帯行事であるジュニア酪農教室や写真コンテスト、春の北海道B&Wショウにおけるジュニアカップ、リーディング講習会などについて、運営委員会が全面的なバックアップを行うことが改めて再確認されました。

尚、今回は任期満了に伴う役員改選が行われ、次のとおり新役員が選出されました。

運営委員会役員（26年2月～28年2月）

会　長　　加藤道博　川西ＪＨＣ
副会長　　鈴木重充　標茶ＪＨＣ
〃　　小林紀彦　えべつＪＨＣ
監　査　　竹内洋文　オホーツクＪＨＣ
〃　　中川　将　中標津ＪＨＣ

新役員：加藤会長、鈴木副会長、
小林副会長、中川、竹内両監査

（審査部企画課　松井）

連載

米国におけるゲノミック選抜を利用した乳牛改良状況の視察

3．G選抜を活用した種畜生産の現場を視察する

レディス マナーとサンディー バレーの視察

今回の視察では、種畜の生産にG選抜を活用している2戸のブリーダーの実態を調査しました。メリーランド州ボルチモアから北に車で1時間程度の距離にあるマイ レディス マナー牧場(以下、LM牧場という)は、1819年創業、現在4代目が経営しています。労働力はオーナー夫婦と2人の息子、さらに搾乳時に4名のパートタイマーを雇い、300頭の搾乳牛(内、EX34頭、VG80頭)を管理しています。平均乳量、乳脂率および乳タンパク質率は各々10,900kg、4.0%および3.2%。収入の60%は乳代、受精卵とヤングブルの販売収入が20%、飼料の販売収入が20%を占めているそうです。飼料作物としては、200エーカー(約81㌶)の土地にコーンとルーサンを栽培しています。G評価成績の高いエリートカウを多数所有し、Gヤングブルや受精卵が世界中のAI事業体等に販売されています。最近の著名な種雄牛としてはシャムロックがあげられ、この牧場の冠名は日本でも大変有名です。また、現在でも共進会には積極的に参加しています。今回はオーナーのスミス夫妻が牧場の案内をしてくれました(写真1)。

写真1．LM牧場のオーナー、ロバート(左)とサム(中央)スミス夫妻、右は案内をしてくれたクーパー氏(竹山氏撮影)

サンディー バレー牧場(以下、SV牧場という)の所在地は、ウイスコンシン州グリーンベイの西側、スカンジナビアという地域です。フリースール牛舎や育成牛舎等の施設も新しく、そこに搾乳牛450頭を飼養し、EXは10頭、血統登録牛は全体の70～80%を占めています。無登録牛は主に受卵牛(レセピアント)として利用されるようです。飼料の作付面積は1,400エーカー(566㌶)、コーンとルーサンを栽培しています。平均産次数は約3産なので、北海道の平均と比較しても、とりわけ低い数値ではありません。平均乳量は12,700kg、乳脂率と乳タンパク質率は各々3.6%と3.3%です。ここにいる血統登録牛の約8割がIVFまたはETで生産された雌牛です。また、牛群は約25のファミリーから構成されていて、その中でG評価値の高い6ファミリーが主に子孫を多く残しているそうです。この牧場は、LM牧場と同様、G評価成績の高いエリートカウが多数飼養されており、優れた遺伝資源を世界中に販売しています。以前は共進会にも参加したことがありましたが、現在では育種改良に集中し、遺伝子(種雄牛)販売を重視した経営になっています。SV牧場で作出された種雄牛としてはABSに繋養されているボルトンが有名です。SV牧場はバウア兄弟が経営していますが、今回の訪問ではグレッグ バウア氏に案内してもらいました(写真2)。

写真1．SV牧場オーナーのグレック バウア氏(左)と交配担当の姪(右)、GHの藤田課長(中央)が通訳をしている(竹山氏撮影)

G評価は優れたテクノロジーだ！

LM牧場では、種雄牛の母牛になりうる未経産牛を対象に、生産子牛の半数程度がSNP検査されています。８月のG評価では33頭が公表されましたが、その内、GTPIで+2,400を越えた未経産牛は10頭いました。スミス夫妻からは、「G評価成績は、毎年、信頼度が向上しており、非常に満足している」との感想が聞けました。

一方、SV牧場の場合、SNP検査用の毛根サンプルは生後３週間で全頭の子牛から採取します。当然、生産されたすべての子牛がG評価されます。実際のSNP検査は、毎月ヤングブルで10頭、未経産牛で15頭程度だそうです。サンプルはAI事業体を通じてSNP検査機関に送付されます。雄牛のSNP検査料はAI事業体が負担してくれます。AI事業体が興味を示す牛については雌牛でもAI事業体の負担でG評価する場合もあるそうです。G評価結果は、毛根の送付後45日以内に生産者に戻ってきます。SNPチップは、通常LDで検査を実施していますが、G評価成績がかなり高いと予測されるものは、MDやHDで検査を申し込む場合もあるそうです。ヤングブルは年間150～200頭生産され、それらはすべてSNP検査を行いG評価されます。その内、年間40～50頭の種雄牛が生体でAI団体に販売されるそうです。G評価成績について、グレッグ氏は非常に満足していると述べています。「体型のG評価成績は安定しているが、泌乳能力は多少ズレがあるように思う」とのことでしが、「G評価値は若い個体の遺伝的能力を評価する上で非常に優れたテクノロジーだ」とも話してくれました。

LM牧場の牛舎風景

オーナーの邸宅と花壇の手入れが行き届いた庭

サイレージ用デントコーンの刈取り、手前はカウハッチ、子牛はここで60日間哺育される

Gヤングブルは満足している

LM牧場におけるGヤングブルの利用率は、少し前まで30%程度でしたが、その割合は年々上昇し、現在では100%、Gヤングブルを供用しています。Gヤングブルの成績は、後代検定済で大きく変動する可能性があり、それは心配ないのかという質問に対し、「検定済になった時、G評価値が極端に下がる牛もいるが、G評価値が変化しないヤングブルもいるので、それほど気にしていない」そうです。そのため、供用するときは、特定のGヤングブルに集中しないように注意しているそうです。

LM牧場、搾乳のためにゲノミックカウがパーラーに並んでいる

LM牧場の看板の前で記念撮影

SV牧場でも100%、Gヤングブルを供用しています。その中でもGTPIで+2,400～+2,500クラスのGヤングブルを供用しているそうです。昔、後代検定済種雄牛を使用していた頃は４種類程度でしたが、Gヤングブルに代わってからは10～15種類程度の精液に増やしているそうです。LM牧場やSV牧場におけるこのような取り組みは、特定の種雄牛に集中せずにリスクを分散することで、G評価成績の変動の危険性を回避する狙いがあり、AIPLで説明のあった理論を現場サイドで実践している事例と考えられます。

G選抜で最新の繁殖技術を活用

G選抜の鉄則は、G評価値の信頼度が低いという欠点を補うため、なるべく若い時期に子孫を残すことです。そのためには、OPU/IVF（経膣採卵/体外受精）のような最新の繁殖技術を積極的に活用する必要があります。LM牧場では９ヵ月齢でOPU/IVFを実施します。OPU/IVFで生産

する受精卵は全体の50%くらいです。受精卵は受卵牛に移植しますが、ETによる受胎率は50%～60%程度、中でもIVF由来の受精卵のET受胎率は50%と若干低いそうです。採卵した後の供卵牛は、12～13ヵ月齢で人工授精し、受胎させます。

SV牧場では、週 4 頭のペースで受精卵の採取を実施し、その内 3 頭は未経産牛から採卵します。OPUによる採卵は、近くの採卵センターに牛を移動します。ここでも 9 ヵ月齢からOPUを実施します。OPU/IVFは 2 週間ごとに実施、一定の受精卵を採卵した後、15～16ヵ月齢までには本牛に授精し、受胎させます。G評価成績が特に高い雌牛は、受胎後もOPUを行い採卵することがあります。また、全姉妹で 3 頭以上いたら、もっともGTPIの高い雌牛を選んで採卵を続けるとのことでした。OPU/IVFは 2 週間に 1 回の頻度で採卵できるので、通常の受精卵の採卵よりも様々な種雄牛との組み合わせを試すことができます。G評価成績は信頼度が低いので、OPU/IVFを利用した様々なGヤングブルとの交配組み合わせはリスクの分散にも役立つと思われました。OPU/IVFは通常の受精卵の採取よりもホルモン処理による供卵牛への負担が小さい一方で、IVF由来の受精卵は生卵でも受胎率が30～60%とむらがあるそうです。OPU/IVFとETは採卵用施設でおこないますが、牛の搬送料も含めると一回当たり4,000ドルかかります。通常の受精卵の採卵と移植は一回当たり約1,000ドルとのことなので、かなり費用が割高です。

SV牧場の牛舎風景

カウハッチが並ぶ牛舎、プラスチックの板で仕切られている

カウハッチには 2 ～ 3 頭が入る

もう少し成長すると育成牛舎へ

搾乳牛が収容されているフリーストールバーン

世代間隔の短縮と生産寿命は違う

世代間隔を短縮して改良スピードを向上させるため、両牧場において子孫を残す雌牛は徹底して若い個体です。SV牧場の場合、供卵牛の75%以上が未経産牛です。そのため、母娘の両方が未経産牛として在籍している場合も珍しくないそうです。経産牛からの採卵はG評価成績がかなり高い個体のみに制限されます。一定個数の受精卵を確保すると供卵牛としての役割を終えますが、次は受卵牛となって若い世代の子牛を生産して生乳生産を続け、牧場経営に役立つことになります。そのため、雌牛の生産寿命は、それほど極端に短くはならないようです。

SV牧場の全景をバックにグレックバウア氏と記念撮影

Gヤングブルであっても泌乳能力が高いもの

G評価値は、信頼度が低い一方で、未経産牛やヤングブルの世代と非常に若い世代にG評価値が発表されます。そのため、多少信頼度が低いG評価値で選抜したとしても、その選抜時期がより若ければ、世代間隔を短縮させて、全体的に見れば、改良が進むというのがG選抜の理論です。今回の視察では、このG選抜の理論を上手に実践している 2 戸のブリーダーを見てきました。

最後に、G選抜を利用して、どのような改良をしたいのか、供用種雄牛の遺伝的特徴について聞いたことをお話しします。LM牧場は、泌乳能力、特に乳量の改良スピードを落とさないこと、さらに可能であれば体型(特に肢蹄と乳器)、妊娠率および体細胞スコアを同時に改良できるヤングブルを選び供用することを心がけているそうです。SV牧場の改良は、GTPIが高いヤングブルのグループを抽出、その中で乳タンパク質量、乳量および生産寿命の改良が期待できるものを供用するようにしているとのことです。泌乳能力が高いと繁殖

が悪くなるなどの問題があるでしょうが、両牧場の改良指針を見る限り、乳牛改良の要は、やはり昔も今も泌乳能力の改良であると感じました。

◇読者の理解を深めるためにOPU/IVF技術の解説◇

OPUは1991年にはじめてオランダで紹介された技術であり、正確には日本語で「超音波誘導経膣採卵技術」というそうです。牛の受精卵を取得する方法としては、過剰排卵・人工授精・子宮灌流の順で受精卵を直接採取する方法と卵巣から未成熟卵を採取し、体外受精技術(IVF)で受精卵をつくる2つの方法があります。卵巣からの未成熟卵採取法としては、屠畜の卵巣から吸引する手法が一般的ですが、この方法だと卵巣を取り出すために屠殺しなければなりません。OPUは、雌牛を殺さずにプローブとよばれる器具を経膣に挿入し、超音波の画像を頼りに、そこから卵巣内の卵胞に針を刺して未受精卵を吸引する方法です。過剰排卵処理で正常卵が得られない場合、OPUは受精卵を確保するために役立ちます。また、前述したように繰り返し未成熟卵を採取できるので(2週間ごとに採卵ができ、受胎後も採卵が可能)、IVFによって色々な種雄牛との交配組み合わせが可能になります。G選抜では、特定のヤングブルに偏らない交配が求められるので、OPUはG選抜の時代に欠かすことのできない技術と考えられます(写真3・写真4を参照)。

写真3．プローブを経膣に挿入、超音波画像を見ながら卵巣内の卵胞に針を刺して未成熟卵を吸引するところ、右下に超音波診断装置と卵胞卵子吸引装置がある(資料提供：LIAJ古舘氏)

写真4．牛の経膣用プローブ、先端から超音波を出して卵胞を探す。先端を膣壁に押し当て吸引針を卵巣内の卵胞に刺す(資料提供：LIAJ古舘氏)

(改良部長　河原)

北海道ホルスタイン農業協同組合　第68回通常総会

日時：平成26年5月28日
水曜日
午前11時00分

場所：かでる2･7
札幌市中央区北2条西7丁目

組合員の皆様多数のご出席をお待ちしております！！

平成25年度役員視察研修〔静岡県・長野県〕

浜名酪農協

浜名酪農協TMRセンター

南信酪農協

南信酪農協:手塚牧場

静岡県：浜松市「浜名酪農協」　長野県：松本市「南信酪農協」

伊豆の国市：バス車窓からの富士

松本市HightLand Rail

今年度の当組合役員視察研修が平成25年11月15日～20日の間に行われ、視察した『第12回中部日本ホルスタイン共進会』の模様については当通信2014-1号に報告しました。今月号では、共進会と合わせて静岡県の浜名酪農業協同組合と長野県の南信酪農協同組合を訪問し、施設や牧場など見学させていただきましたのでその概要を報告いたします。

浜名酪農協 静岡県浜松市（11月18日）

浜名酪農業協同組合（伊藤光男代表理事組合長以下、浜名酪農協）は昭和23年に設立され、平成15年に当時の小笠酪農協と合併し本所を浜松市、小笠支所を掛川市に置き、静岡県西部地域（浜松市、湖西市、掛川市、菊川市）を中心に正・準組合員数94名（平成23年３月31日現在）で構成され、成牛2,000頭、育成牛400頭、生乳生産量15,224t（県内シェア16%）の酪農専門農協であり、組合事業として平成20年にコントラクター、平成21年にTMRセンターを設立し現在に至っています。

浜名酪農協本所前 伊藤組合長（前列中央）、平野副組合長（右隣）と記念撮影

私たちは、浜名酪農協自らが運営する先進的な事例といえるコントラクターとTMRの事業について、伊藤組合長、平野安春副組合長、国京政孝TMRセンター長からご説明をいただきながら施設や設備の視察を行い、伊藤組合長と理事の森嶋恒牧場を見学しました。

浜名酪農協がコントラクターとTMRセンターの設立を図った背景は、飼料作物作付面積の減少による購入飼料依存、テーブル乳価導入による乳質向上のための良質飼料の必要性、飼料費高騰（乳飼比40%台から60%台に…）、輸入飼料の不作・生産国のバイオエタノール政策の影響など、様々な理由によって酪農経営存続の危機にさらされていることもあり、組合員が今後も酪農を継続し員数を維持し、安定した基盤を築いて後継者に経営を譲ってゆく環境を構築するため、コントラクターで自給飼料作物生産の拡大を行いTMRセンターで良質安価な飼料供給を図ることを目的に事業を起こしました。

〔**コントラクター**〕

- 職員による作付けと刈取り（施肥を含めた一切の圃場管理を職員が行う）
- 組合員からの借上げを含んだ農作業機械の運用・保持・整備
- 牧場の糞尿収集と堆肥の作成
- 圃場面積85ha（20haは耕作放棄地解消）、作付け延べ面積120ha（一部二期作）
- 作物は青刈りとうもろこし
- 農地拡大のため渉外職員を雇用
- 作付けに借用した用地は、用地の管理や景観・環境保全に利するなどの理由で、地代は支払わない。（地主より返却要望があれば即返却）

県内に点在する圃場で刈取られたとうもろこしは、その圃場や近隣の用地に適当量集められロールパッキングしサイレージ化へ。（圃場が県内東西80kmに分散しているため）必要に応じてTMRセンターに運ぶ。

渉外職員は、作付け適地調査・地権者調査と説明・利用権設定契約・作付け状況調査などを実施する。さらに役所・法務局・農業委員会との用地利用にかかる折衝も行う。

〔**TMRセンター**〕

- 31戸の組合員の飼料オーダーに対応するととも

に外販用にも作成(計9種類)100ｔ/日、搾乳用TMR(6種類)60ｔ/日、乾乳用TMR(1種類)12ｔ/週、エコフィード発酵サイレージ30ｔ/日

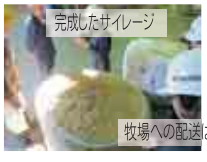
- エコフィードの活用
- 全国初のサイレージ作成技術
- コンサルタント5名含む総数35名の職員
- 牧場の牛舎構造に合わせた飼料の配送

エコフィードの活用と全国初のサイレージ技術

もやし・生めん
焼酎液粕・ウイスキー液粕…
etc…10～15種

【エコフィード】の原料となる多種多様な食品残さが大量にTMRセンターに運び込まれます。TMRセンターは、我が国流通の大動脈である2つの東名高速道路が縦貫し、名古屋や大阪といった大消費地の間近であり、さらには大きな港も控えている好立地の浜松市に在り、大阪・名古屋はもとより、東は仙台、西は福岡からの荷が有り、とうふ粕に至っては毎日10ｔもの量を受け入れます。(日々発生する受け入れにより、1日2交代制で12時間・年間365日稼働)

【全国初の技術】とうふ粕などは腐敗が早く保存期間が短いため、飼料原料としては扱いが難しい。しかし、これらを乾草と混合しロールサイレージ(乳酸発酵)にすることで、長期間の保存を可能にした。仕上がったTMRは、夏場においても腐変しにくいものとなり、飼槽に置かれた飼料の品質は牛が食べ切るまでほとんど損なわれない。作成するロールはロット毎に飼料分析が行われ、その分析値を基に製品化する。(食物残さの品目・種類を増やすことで成分の偏りを省き均一化を図る)



【エコフィードってなぁに？】『食品残さ飼料』の意味で、エコロジカル(環境にやさしい)やエコノミカル(節約する)のエコ(eco)と、飼料(feed)から成る造語で、配合飼料供給安定機構の登録商標です。食品残さは、食品製造業・流通業や外食産業などから食品製造副産物・余剰食品・調理加工残さが大量に発生していますが、それらは廃棄され多くは焼却処理されています。飼料作物の大多数を輸入に依存する我が国において、地球環境問題や資源の有効活用を図るため、現在、国を始めとする多数の機関・団体が食品残さを飼料として活用するエコフィードの推進に取り組んでいます。

【バラ餌】TMRセンターのバラ餌としての配送は牛舎の飼槽前を通りながら直接給仕が行われる。配送兼給仕車は、荷台に飼料バケット・給餌装置とともに消毒液の入ったタンクを積み、牧場敷地に入る前に運転席からの操作で全てのタイヤに消毒液を噴霧した後入場する仕組みが施されている。

コントラクター事業により、酪農家は農地の管理と堆肥の処理から解放され牛の飼養管理に専念でき、遊休農地の解消によって収量増と景観向上に貢献している。TMR事業では、飼料費の削減と良質の飼料を給与することにより生産量の増加と乳質改善に大きな効果が生まれ、酪農家の経営継続の体制を図りながら、地元の消費者に牛乳の安定的供給する体制を構築している。

伊藤牧場

ご夫婦と息子さん娘さん4人で営農、経産牛105頭、未経産牛7頭、出荷乳量1,000ｔ、飼料配送車が飼槽に直接給仕する牛舎構造、健康的でバランスのとれた牛群であり飼養管理の巧みさが窺えた。

森嶋牧場

ご夫婦と息子さん3人で営農、経産牛90頭、未経産牛7頭、育成牛7頭、出荷乳量800ｔ、牛舎内外がとてもきれいに整備された牧場、掃除の行き届いた牛舎の角に防寒の用意が無いアブレストパーラーが設備されている。

南信酪農協 長野県松本市（11月19日）

南信酪農業協同組合(柳沢宏代表理事組合長 以下、南信酪農協)は長野県松本市に県の中部・南部(中信・南信)の酪農家400余名が集い昭和23年に設立されました。一時期は7,500名を超す組合員が存在した時期もありましたが、現在は組合員1,062名(正組合員124名、準組合員938名)が中信から南信までの直線距離で約120㎞の広範囲に点在しており、85戸が生乳出荷し、搾乳牛頭数2,466頭、

育成牛1,174頭、出荷量19,556tの酪農専門農協で、他に購買品の供給や乳製品の販売等と原乳の集送乳等を行う２つの子会社を稼動させ、日々の組合業務にあたっています。

私たちは、南信酪農協の概要・沿革と事業内容を勉強させていただいた後、副組合長の三村誠一牧場、柳沢組合長の息子さんが経営する柳沢聡牧場、役員(監事)の手塚尚典牧場の３牧場を見学させていただきました。

【観光ではありません！】国宝の松本城が写っていますが、決して観光をしている訳ではありません。(視察研修ですから‥)この日、昼食に予定した時間は１時間でしたが、お蕎麦だったせいか15分ほどで食べ終わり、一同が時間を持て余し気味だったのを察した柳沢組合長の心使いの発案で、南信酪農協に向かう途中に「中に入らず外堀を半周しましょう」となりました。(喜)

青空に映える威風堂々の松本城を背に記念撮影　前列右端が柳沢組合長

三村牧場

ご夫婦と息子さん中国人２人の５人で営農、経産牛64頭、未経産牛15頭、育成牛25頭、出荷乳量560t　長男の息子さんに加えて今は学生の娘さんと二男さん３人が将来の三村牧場を担う予定であり、時折帰郷する娘さんから「この牛とあの牛は良い牛だから大事に飼ってね。と言われているんですよ。」と、嬉しそうに三村さんが話されていました。５～６年後に再び訪れたいと思った将来が楽しみな牧場です。

【娘さんと息子さんが北海道に？】三村さんのお話しの中で、娘さんが酪農学園大学に息子さんが八紘学園に在籍していることが記憶に残り…、南信酪農協のHPと酪農学園大学のHPを覗いていたらとても素晴らしい話題を発見しました。2011年12月に毎日新聞主催の農業記録賞の表彰式が行われており、受賞者の中に子供さん２人のお名前がありました。

・三村恵里さん「これが私の生きる道」
・三村憲二さん「輝く未来を信じて～兄弟と共に切り開く体験牧場～」

右2人　三村恵里さん・憲二さん姉弟

ん？このお顔‥何処かで？

そうか！2013BWショウのデーリィプリンセスでした!!

恵里さんの「これが私の生きる道」の全文が南信酪農協のHPに掲載されています。ぜひ、読んでみてください。〔“南信酪農”でヒットします〕

柳沢牧場

ご夫婦2人で営農、経牛30頭、未経産牛5頭、育成牛5頭、出荷乳量230t、既存の機械設備と牛舎を大事に使っている様子が覗え、牛舎内外はとてもきれいな状態、健康的で質が揃った牛群です。

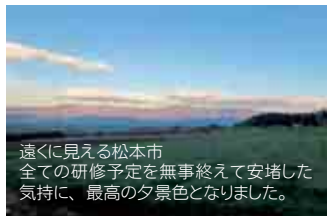
手塚牧場

手塚さんと息子さんの２人で営農、経産牛40頭、未経産牛５頭、育成牛15頭、出荷乳量350ｔ、改良に意欲的な牧場であり、中部日本ホルスタイン共進会にも出品していて、タイプの良い働きそうな牛が多数繋がっていました。

【原種牛認定証書】長野県は、昭和38年から“長野県ホルスタイン原種牛・名誉原種牛認定制度”を独自に設けています。“原種牛”は能力と体型が一定以上の水準にある牛が認定され、自らが原種牛に認定され、さらに娘牛２頭が原種牛に認定されて“名誉原種牛”に認定されます。牛群の改良とともに高能力を発揮し長命連産を実践する高い飼養管理技術がその証しとなり、この証しが手塚牧場の牛舎に掲げられていました。

浜名酪農協と南信酪農協で、色々なお話しを聞かせていただいた中で印象に残ったのは、厳しい酪農状況の中で経営を向上・安定させ、次代に引き継いで行くという強い意志です。私達北海道人が思うことも同じであり、オール日本酪農の未来が今まで以上、さらに発展するだろうことを信じています。

（JHBS管理部長　城丸）



遠くに見える松本市
全ての研修予定を無事終えて安堵した気持に、最高の夕景色となりました。

写真：[平成21年度全国コントラクター情報連絡会議資料]および[TMRセンターリーフレット]・[WebHP酪農学園大学ニュース]より一部引用

第4回理事会の概要

平成26年1月24日(金)午後1時00分
京王プラザホテル札幌

【報告事項】
1．前回理事会(10/28)後の主な処理事項について
10/31-11/1 第24回組合員女性研修会
11/5-11 カナダ酪農視察研修
6 留萌地区組合員懇親会
12 第1回根室管内組合員協議会地区懇談会
13 ジェネティクス北海道 理事会
15-20 国内酪農視察研修
21 日ホ 第268回理事会
12/5 北海道総合畜産共進会開会に係る打合せ
6 釧路地区組合員協議会研修会
9 北海道酪農検定検査協会 理事会
10 北海道ブラウンスイス協議会 役員会
13 総務委員会
16 宇都宮顕彰会 表彰候補者選考委員会
17 北海道ホルスタイン改良協議会三役会
20 経済企画委員会
1/7 家畜市場 初セリ
7-10 第8回乳牛改良審査サクセッサープログラム
9 宇都宮顕彰会 理事・監事・評議員会
10 市場流通業務推進協議会
16 第16回北海道総合畜産共進会実行委員会設立総会
20 北海道乳牛改良委員会 第9回専門委員会
23 優良登録委員表彰式・祝賀会
2．業務及び収支の状況について
3．日ホ 理事会の報告について
4．総務委員会報告について
5．経済企画委員会報告について
【協議事項】
1．組合員の加入・譲渡・脱退について
期首:996名 加入:6名 脱退:14名 現在:988名
2．平成26年度事業計画骨子(案)について
3．組合員の海外研修及び女性研修実施(案)について
4．役員の研修計画(案)について
5．定年退職年齢の引上げ等の改正(案)について
6．組合員の新規加入依頼(案)について
7．ＪＨＢＳ所有不動産について
8．第16回北海道総合畜産共進会「乳用牛部門」及び2014北海道ホルスタインジュニアカップについて
・開催要領(案)と日程(案)
9．2014ゴールデンナショナルセール開催要領(案)について
10．共進会審査員の認定(案)について
11．北海道全共後のナショナルショウ出品区分の考え方について
12．地区組合員協議会開催次第及び日程(案)について
13．その他
・定年退職による人事異動について

浴石随筆 その六

大阪を出て、汽車がしばらく西へ走ると「きびだんご」の地へはいる。仕事で幾つかの県へお邪魔をさせていただいた。仕事の合間に観光地をご案内いただくのだが、「桃太郎さん誕生の地」という看板が幾つもあるのに気付く。〇〇県でお生れになったのかと思って隣りの県へ行くと、となりの県にも「桃太郎さん誕生の地」がある。ご愛嬌である。

桃太郎さんもタイヘンだったなァーーと思う。

急流を遡るように奥地へ入ると「弁慶はこの岩で昼寝をしました」という「弁慶寝覚めの床」という大きな岩がある。これがまた一ツではない。弁慶さんはゆっくり昼寝も出来なかったのだろうなァーーと、余計な心配をさせられる。

さて、北海道を離れて23年間。中京圏で仕事をして、多くの酪農県を訪ね、見聞を広めさせていただいた。その中で、「日本酪農発祥の地」と書かれた石碑が複数の県にあることを知った。県の名は控えさせていただく。

そして「北海道は酪農王国ですよネ？」という言葉を何度も聞かされた。これに見合う石碑が北海道の何処かにあったかナ？ーーと考えた事があった。

（附）こゝからは少し砕けた話になることをお許し願いたい。

中京、関西、西国の地を訪ねると、男のシンボルをご神体にした小さな社（やしろ）があって、男が見てもほれぼれする立派なご神体をお祀りしている。

案内の方が「お参りしていきましょう」というので、「神様、一度でいいですから、昔のように馬がニコツとお辞儀をして通るくらいの立派なものをお授け下さい！」と、必死にお願いした。ーーご利益は無いだろうなァーーと思いながらーー。

「ウム、たった五円の奏銭で厚顔ましい奴ジャーー」と、お声があった。八十四歳にもなったオイボレが、なんの今更とお笑い下さるナ。男の生甲斐と存ずる。

いちばんびっくりしたのは、男女のシンボルを並べてご神体にした社があった。その気にさせる程、立派なご神体であった。若い夫婦が真剣な表情でお参りをしていた。「そんなにお困りなのです力？」と、若妻にお尋ねしてみようかと思った。

「ハイ、もっと、小さいのに取り替えていただきたい！」とお願いしております。と言われたらどうしよう、お答えのしようが無いナーーと思ったから、やめといた。

名古屋郊外の地であったと記憶している。いまもお困りのかたーーーどうぞーーー。

浴石

平成26年度　審査予定表

年４回実施

地区	班		A　日　程	B　日　程	市町村　及び　団体名
石狩空知		前期	4 /15～ 4 /26	7 / 1 ～ 7 /12	全　管　内
		後期	10/20～10/30	1 /27～ 2 / 7	
上川		前期	4 / 2 ～ 4 /12	6 /17～ 6 /28	全　管　内
		後期	10/ 1 ～10/11	1 /14～ 1 /24	
後志渡島・檜山		前期	4 / 2 ～ 4 /12	6 /17～ 6 /28	全　管　内
		後期	10/ 1 ～10/11	1 /14～ 1 /24	
胆振日高		前期	5 / 7 ～ 5 /17	7 /22～ 8 / 2	全　管　内
		後期	11/ 4 ～11/15	2 /12～ 2 /21	
十勝	1	前期	4 / 2 ～ 4 /12	6 /17～ 6 /28	新得・清水・芽室
		後期	10/ 1 ～10/11	1 /14～ 1 /24	
	2	前期	4 /15～ 4 /26	7 / 1 ～ 7 /12	豊頃・浦幌・本別・足寄・陸別
		後期	10/20～10/30	1 /27～ 2 / 7	
	3	前期	4 / 2 ～ 4 /12	6 /17～ 6 /28	鹿追・士幌・上士幌
		後期	10/ 1 ～10/11	1 /14～ 1 /24	
	4	前期	6 / 3 ～ 6 /14	8 /26～ 9 / 6	中札内・更別・大樹・広尾・忠類
		後期	11/25～12/ 6	2 /24～ 3 / 7	
	5	前期	5 / 7 ～ 5 /17	7 /22～ 8 / 2	帯広・川西・大正・音更・木野・高島
		後期	11/ 4 ～11/15	2 /12～ 2 /21	池田・幕別・札内
釧路	1	前期	6 / 3 ～ 6 /14	8 /26～ 9 / 6	標茶・浜中・厚岸
		後期	11/25～12/ 6	2 /24～ 3 / 7	
	2	前期	4 /15～ 4 /26	7 / 1 ～ 7 /12	釧路・阿寒・鶴居・幌呂・白糠・音別
		後期	10/20～10/30	1 /27～ 2 / 7	弟子屈
根室	1	前期	5 / 7 ～ 5 /17	7 /22～ 8 / 2	根室・別海・西春別
		後期	11/ 4 ～11/15	2 /12～ 2 /21	
	2	前期	4 /15～ 4 /26	7 / 1 ～ 7 /12	中標津・計根別
		後期	10/20～10/30	1 /27～ 2 / 7	
	3	前期	6 / 3 ～ 6 /14	8 /26～ 9 / 6	標津・上春別・中春別
		後期	11/25～12/ 6	2 /24～ 3 / 7	計根別（一部）
網走	1	前期	5 / 7 ～ 5 /17	7 /22～ 8 / 2	網走・佐呂間・常呂・東藻琴・斜里
		後期	11/ 4 ～11/15	2 /12～ 2 /21	小清水・清里・女満別・美幌
	2	前期	4 /15～ 4 /26	7 / 1 ～ 7 /12	紋別・上渚滑・雄武・興部・滝上
		後期	10/20～10/30	1 /27～ 2 / 7	西興部
	3	前期	6 / 3 ～ 6 /14	8 /26～ 9 / 6	北見・相内・上常呂・置戸・訓子府
		後期	11/25～12/ 6	2 /24～ 3 / 7	端野・留辺蘂・温根湯・津別
	4	前期	4 / 2 ～ 4 /12	6 /17～ 6 /28	丸瀬布・遠軽・上湧別・湧別・芭露
		後期	10/ 1 ～10/11	1 /14～ 1 /24	生田原・白滝
宗谷		前期	5 / 7 ～ 5 /17	7 /22～ 8 / 2	全　管　内
		後期	11/ 4 ～11/15	2 /12～ 2 /21	
留萌		前期	6 / 3 ～ 6 /14	8 /26～ 9 / 6	全　管　内
		後期	11/25～12/ 6	2 /24～ 3 / 7	

基本申込・初回の受検時期　＊＊＊＊＊　２回目以降受検可能時期

前年度後期Ａ日程 ――― 今年度前期Ａ日程
〃　後期Ｂ日程 ――― 今年度前期Ａ・Ｂ日程
今年度前期Ａ日程 ――― 今年度前期Ｂ日程・後期Ａ日程
〃　前期Ｂ日程 ――― 今年度後期Ａ・Ｂ日程
〃　後期Ａ日程 ――― 今年度後期Ｂ日程・次年度前期Ａ日程
〃　後期Ｂ日程 ――― 次年度前期Ａ・Ｂ日程

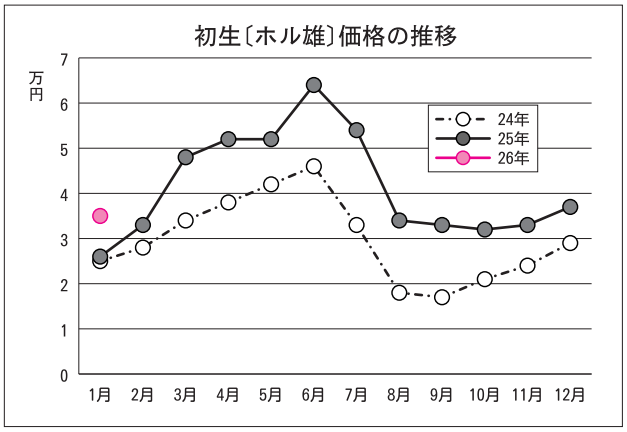
北海道ホルスタイン農協 家畜市場成績

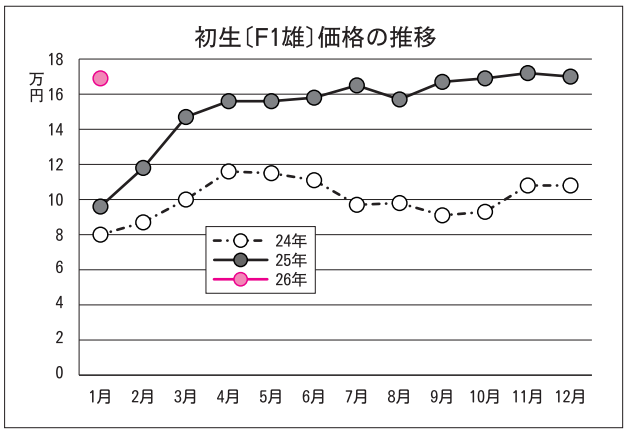
初生〔ホル雄・F1雄・F1雌〕価格の推移

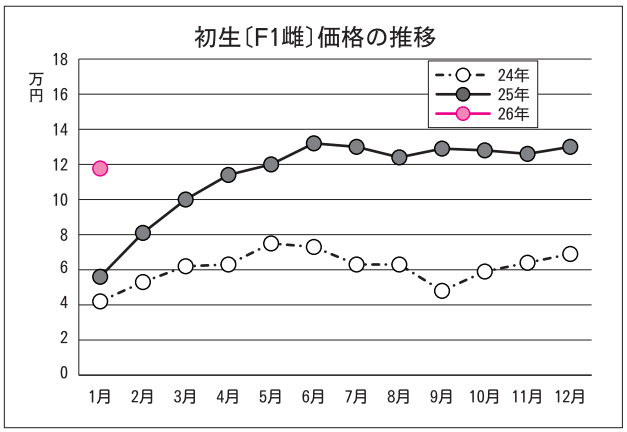
（単位：万円）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
ホル雄	3.5											
F1雄	16.9											
F1雌	11.8											

（注）価格は各月でセリが成立したものの平均価格です







最近の家畜市場成績（２月18日開催）

種　類	内　訳	出場頭数	成立頭数	最高価格	最低価格	平均価格
乳用牛	育成牛	—頭	—頭	—円	—円	—円
	初妊牛(88%以上)	3	2	483,000	420,000	451,500
	初妊牛(88%未満)	—	—	—	—	—
	経産牛	—	—	—	—	—
初生犢	ホル雄	111	104	68,250	1,050	43,424
	ホル雌	—	—	—	—	—
	ホルフリー	3	3	1,050	1,050	1,050
	黒毛雄	—	—	—	—	—
	黒毛雌	—	—	—	—	—
	F1雄	42	40	241,500	87,150	176,531
	F1雌	38	37	175,350	63,000	127,731
	乳用種雄	—	—	—	—	—
	乳用種雌	—	—	—	—	—
	肉専用雄	—	—	—	—	—
	肉専用雌	—	—	—	—	—
肉用牛	1年以上ホル雌牛	59	59	263,550	108,150	168,481
	その他肉用牛	42	42	511,350	124,950	323,000
馬		14	14	840,000	26,250	239,250
緬羊・山羊		—	—	—	—	—
合　計		312	301	840,000	1,050	146,397

乳牛予想相場表

（平成26年３月予想）

規格	月　齢	中	上
血統濃度88%未満	6～8カ月	25～30万円	28～35万円
	9～11〃	28～35	30～35
	12～14〃	28～35	30～35
	初妊牛	48～53	52～57
同上概ね88%以上	6～8カ月	25～30	28～35
	9～11〃	28～35	30～35
	12～14〃	28～35	30～35
	初妊牛	48～53	52～57
成績証明娘牛	6～8カ月	25～30	28～35
	9～11〃	28～33	30～35
	12～14〃	30～35	32～38
	初妊牛	50～55	55～

（注）初妊牛は５～６月に分娩するもの。

ひとこと

ロシアで行われていたソチオリンピックが２月24日に閉幕し、３月７日からはパラリンピックが開幕されます。実は、私は１年ちょっと前にソチに行ったことがあるのですが、ソチの緯度は43度で札幌とほぼ同じ。しかし、黒海の海洋性気候のおかげで温暖で２月は最高14度・最低４度位、夏には海水浴客が賑うロシア随一のリゾート地です。

私が行ったルートは、飛行機で成田空港から10時間ほどかけてモスクワ空港へ行き、そこから飛行機を乗り換え２時間半かけてソチ空港へ向かいました。そこで小さな失敗。成田空港で預けた荷物はそのままソチまで運んでくれるとばかり思っていたら、モスクワ空港で荷物を一度引き取り、改めて預けなくてはいけないことになっていたのを途中で気づきました。行き先が一緒の他の乗客の中には、ちゃんと成田空港でソチまで運ぶように航空会社の係員に伝えている人もいて、何も言わなかったことを後悔…ちゃんと荷物を引き取れるか不安…ロシア語も英語もちょっと…。でも、無事に荷物は引き取ることはでき、行き先ソチが記載されている航空券をモスクワ空港の係員に見せて預けることができました。（今度から気をつけようと思いました）

ソチ空港には、深夜23時過ぎに着きました。大きな飛行機ではなかったので、飛行機から降りてバスに乗り、ターミナルまで移動します。ところが飛行機から降りると、どしゃ降り！ひどい雨。飛行機からバスの乗り場まで離れているのに、屋根も何も無い中を走るしかありませんでした。（昔、丘珠空港で雨が降っていたときは、傘を貸してくれました）乗客は走ってバスに乗りました。しかし、ひどい雨だったため一気にベチャベチャになりました…。ソチの冬は傘が必須で、雪よりも雨がよく降るため、氷点下にはなることはないそうです。ソチの冬は気まぐれで、その日にならないと何を着たら良いのか解からないらしいです。

滞在中、ホテルのテラスに出てみると、雪をかぶった沢山の山が見えて、とてもきれいでした。見えたのはカフカス山脈で、今回のオリンピックのジャンプやモーグル、スノーボードなどの会場があるところでした。ホテルの周りの道路には雪がなく、暖かかったので、テラスでジュースを飲みながら見ていたので、山に雪がかぶっているのが不思議な感じがしました。

ホテルの裏口から歩いてすぐのところに、黒海がありました。とても大きく、近づいてみたかったのですが、波がすごく高く、海水を触ることはできませんでした。（一緒に行動していた人は近づいて舐めたら、日本海とは違ったと言っていました）砂浜ではなく、たくさんの小石があったので、まんまるな小石を２つもらってきました。

と、１年ちょっと前のことを思い出してみました。そして、この「ひとこと」の原稿を今日提出して、黒海で拾ってきたまんまるな小石１つを、今日これからソチへ返しに行ってきます。今度は空港で気を付けます。ヌゥ.パカァ！

札幌オリンピック前に生まれたジェーンスキイ

頒価100円（組合員の購読料は賦課金に含まれています）